

提 言

部活動に関する方針案の策定にともない、運動部活動の指導における体罰等の不適切な指導の根絶など運営の適正化を図るため、生徒を中心に据えた持続可能な運動部活動の指導の在り方に係る方向性として、次のとおり提言します。

運動部活動を持続可能なものにするための5つの提言 ～「生徒が主人公の運動部活動」をめざして～

- 1 生徒の自主性を尊重し、生徒とともに、顧問も学び合う関係性の構築に努めること。
- 2 これまでの経験と最新の知見を取り入れ、プレーヤーズセンタードの考え方⁽¹⁾をもとに指導に努めること。
- 3 生徒がバーンアウト⁽²⁾することなく、それぞれの目標を達成できるよう責任を持った指導に努めること。
- 4 生徒の人権に配慮した適切な指導を行うものとし、体罰等は絶対に行わないこと。
- 5 「する・みる・支える・知る」のスポーツへの多様な関わり方の視点を重視し、豊かなスポーツライフを実現する資質や能力の育成を目指すこと。

平成31年11月
部活動適正化推進検討委員会

(1) スポーツの主役はプレーヤーであり、指導者自身の考えを一方向的にプレーヤーに伝えるのではなく、成長に導いていくコーチングを目指すこと。
(2) 燃え尽き症候群のこと：運動部活動では、スポーツ活動や競技に対するやる気を失い、燃え尽きたように体力と気力を使い果たし疲れ果て、スポーツ活動や競技が続けられなくなってしまうこと。